

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スポーツとまなびのひろばSAIYO 池田校				公表日	2025年4月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50.0%	50.0%	・部屋が狭いが、机や椅子をデッドスペースに移動させるなど、運動スペースの確保をしている	・整理整頓を行い、スペースを確保する	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75.0%	25.0%	・利用人数や学年などを考慮して適切に調整、人員配置できている	・ギリギリの体制のため、もう少し余裕を持ちたい ・専門職(児発管、保育士等)を入れ、十分に配置できるようにする。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87.5%	12.5%	・収納に関しては狭いながらも工夫し、整理整頓を心がけている ・施設内はバリアフリーになっている。2階が事業所のため階段はある	・整理整頓を行い、スペースを確保する	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	87.5%	12.5%		・運動するには狭い	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	28.6%	71.4%	・個別に会話したいときは、部屋の中で端っこの方、ホワイトボードでの間仕切り、部屋外で会話するなど工夫している	・面談等のためのプライベートスペースの確保	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	87.5%	12.5%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・形式化された面談・アンケートだけではなく、日常から意見が言いやすい雰囲気を作られている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50.0%	50.0%		・健全な運営ができるよう検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	85.7%	14.3%	・月1回の勉強会、年に4～5回の研修を行っている	・社内研修・外部研修・オンラインを活用するなど継続して行う。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	・スタッフミーティングで立案している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	・それぞれスタッフが、各々の観点で積極的にアセスメントに参加している ・「イケダス」を活用している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	・子どもの利益が最優先されている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	・日々の行動観察含めたインフォーマルなアセスメントは、複眼的な情報共有含め非常に丁寧に行われている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	87.5%	12.5%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	・定期に療育ミーティングを行っている	・プログラムの見直しチームを作り実施する。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	・常に子どもたちの状況を考慮し、新しいことも取り入れようと工夫されている ・他校とも情報交換し、他校の振り返りも共有し、療育も参考にできている	・療育の質を向上に繋がる工夫をしていく。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	・非常に丁寧に、計画を作成し、子どもたち1人1人の状況や、スタッフの配置などを考慮し、日々適切にチューニングして対応している	・集団療育を提供しながら、個別課題をしっかりと分け提供する。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・毎日、要点を押されたミーティングを行い、各スタッフの役割や、子どもたちのコンディション、留意事項などの確認を行っている	・サービス向上に向け、継続して行う。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	・重要な事案があれば全員で共有し、その場にいなかったスタッフにもしっかりと共有されている	・継続して行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	・活動記録は毎日残して保管している	・継続して詳しく記録を残す。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	・支援計画に沿って、モニタリングを実施し、次の課題の提案など行っている	・支援計画フローチャートの通り実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	83.3%	16.7%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	66.7%	33.3%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60.0%	40.0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50.0%	50.0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	66.7%	33.3%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50.0%	50.0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20.0%	80.0%		・今後機会があれば検討していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33.3%	66.7%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	・連絡帳や面談を通じて、しっかりコミュニケーションをとるのはもちろん、送迎時などの会話でも日々の情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.7%	33.3%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	・契約時、面談時に行っている	・継続して行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	・常に保護者が、相談しやすい体制、関係性、雰囲気を作るよう心がけている。ご希望があれば対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80.0%	20.0%	・夏祭りや参觀日、毎月の誕生日会など、保護者参加機会を設けており、交流の場となっている	・より交流の機会を拡大していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	・該当はないが、対応できるようにしている。	・苦情対応はマニュアルに沿って行う。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	・イベント案内、まなびっこ通信、Instagramなど、定期的に情報発信を行っている	
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	85.7%	14.3%	・個人情報の取り扱い許諾に関しては、書面で説明し、サインをいただいている	・注意して取り組む

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	・個別に電話等で意思疎通を図っている。	・個別に対応できるように取り組む。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33.3%	66.7%	・あまり行えていない	・開催できるものがあれば取り組みたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	87.5%	12.5%	・マニュアルは策定済み	・保護者様に周知できるように取り組む。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	・保護者様からの情報を元に、個別に対応している。	・飲食物を提供する際は十分に注意して行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	・何かあれば、スタッフが自ら情報発信できる環境になっているし、実行されている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%		